

令和4年度

「運営に関する計画」

大阪市立新高小学校

令和4年4月

大阪市立新高小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校では、安全・安心な学びの場としての学校の構築に向け、教育活動の推進・機動性ある組織的対応・関係諸機関との緊密な連携・校内環境の整備等に注力してきた。その結果、落ち着いた安全・安心な学びの場となってきた。しかし、一人一人に目を向け、不安を抱えている子どもへの支援を継続していく必要がある。

さらに、Safety Promotion School(以下「SPS」略)認証校として、安全教育とりわけ防災・減災教育を重視して取り組み、成果を上げてきている。しかし、コロナ禍、十分な取り組みができていないのが現状である。家庭・地域・関係機関等の連携の継続に加え、教職員の入れ替わりも多く、今後も取り組んでいける実践力を継続できるようにしていかなければならない。

全国学力・学習状況調査においては、全国平均・大阪市平均を下回っている現状が続いているが、昨年度、大阪市小学校学力経年調査において、大阪市平均を上回る学年、教科がほとんどで、改善が見られる。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童生徒の割合を、90%以上にする。
- 毎年度末の校内調査において、不登校の児童生徒の割合を、毎年、前年度より減少させる。
- 毎年度末の校内調査において、前年度不登校児童生徒の改善の割合を、毎年、増加させる。
- 令和4年度末までに「SPS 中期計画」に基づいた施策を立案し、それを着実に実行している状態を達成とする。令和6年度末までにSPS認証される。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を、35%以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R3 77.5%)
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を60%(R3 全国60.6%)以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

- 「SPS 年度計画」に基づいた施策を立案し、それを着実に実行することにより、令和4年度末の児童アンケート（3年以上）の「災害や防災について他人事ではなく、自分にも起こりうる事として考え行動できた」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、80%以上にする。
- 令和4年度末の児童アンケート「友達一人一人のちがいを大切にしている」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、80%以上にする。
- 児童アンケート「先生や友達とあいさつをしていますか?」「地域の方にあいさつをしていますか?」「お家の方にあいさつをしていますか?」、保護者アンケート「お子様は、地域の方にあいさつをしていますか?」「お子様は、お家の方にあいさつをしていますか?」の項目に対して、肯定的に回答する児童・保護者の割合を、90%以上にする。

「先生や友達とあいさつをしていますか?」 R3→91.9%

「地域の方にあいさつをしていますか?」 R3→88.5%

「お家の方にあいさつをしていますか?」 R3→93.3%

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を32%以上にする。（R3 31.3%）
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.2ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。（R3 77.5%）
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を57%以上にする。

学校園の年度目標

- 小学校学力経年調査における「学校で出された宿題以外に、自分で計画を立てて学習（予習・復習など）をしていますか。」に対して、肯定的な回答する児童の割合を、50%以上にする。（R3 46.0%）
- 児童アンケートにおいて、「算数の学習は分かりますか」の項目について、「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と答える児童の割合を、全体の85%以上にする。

（R3 85.9%）

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

- 令和4年度末の校内調査の「学習者用端末は、自分の生活や学習に役だっている」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。
- 1か月の時間外勤務時間が45時間を超えない教職員の割合を70%以上にする。

学校園の年度目標

- 令和4年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を70%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立新高小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 全市共通目標（小・中学校） ○ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。 ○ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 ○ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 学校園の年度目標 ○ 「SPS 年度計画」に基づいた施策を立案し、それを着実に実行することにより、令和4年度末の児童アンケート（3年以上）の「災害や防災について他人事ではなく、自分にも起こりうる事として考え行動できた」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、80%以上にする。 ○ 令和4年度末の児童アンケート「友達一人一人のちがいを大切にしている」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、80%以上にする。 ○ 児童アンケート「先生や友達とあいさつをしていますか?」「地域の方にあいさつをしていますか?」「お家の方にあいさつをしていますか?」、保護者アンケート「お子様は、地域の方にあいさつをしていますか?」「お子様は、お家の方にあいさつをしていますか?」の項目に対して、肯定的に回答する児童・保護者の割合を、90%以上にする。 「先生や友達とあいさつをしていますか?」 R3→91.9% 「地域の方にあいさつをしていますか?」 R3→88.5% 「お家の方にあいさつをしていますか?」 R3→93.3%	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】 「いじめ防止基本方針」をもとに、定期的に子どもの実態を教職員全体で共通理解を図り、いじめや不登校の事前予防・早期発見・早期対応を組織的に行う。 (いじめへの対応)(不登校への対応) 指標 ・生活指導部会を月1回実施する。 ・いじめアンケートを学期に1回実施する。 ・保護者アンケートを年間1回実施する。 ・いじめ対策委員会等の場で、関係諸機関（スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・区役所・子ども相談センター）との連携が必要と判断した場合、管理職は速やかに、関係諸機関に連絡する。	

・次世代学校支援ソフト「スクールライフノート（心の天気・相談機能）」での子どもの心の可視化に対する支援を実施する。	
取組内容②【基本的な方向１、安全・安心な教育環境の実現】 SPSの年間指導計画、「警備及び防災の計画」「安全対策マニュアル」に沿って、地域・消防署・区役所と連携し、防災・防犯・交通安全に関する授業・取り組みを進める。 (防災・減災教育の推進)	
指標 - 交通安全学習を学期に１時間以上行い、防災に関する授業を各学年一回実施する。 - また、防犯に関する教職員研修、訓練を昨年度同様に具体的に行う。 - 避難訓練（火災、台風、地震、津波等対策）を年３回、関係校園、地域・保護者との合同避難訓練を年２回以上実施する。	
取組内容③【基本的な方向２、豊かな心の育成】 朝会講話や学級指導、地域と家庭との連携を通して、あいさつは、良好な人間関係を構築する上で生涯にわたって必要なものであることを児童に理解させる。 (人権を尊重する教育の推進)	
指標 - 毎月１回、月曜朝会であいさつの大切さについて講話する。 - あいさつへの意識が高まるような工夫を凝らしたあいさつ強調週間を学期に１回以上設定する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立新高小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 全市共通目標 (小・中学校) ○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 32%以上にする。(R3 31.3%) ○ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.2 ポイント向上させる。 ○ 小学校学力経年調査における「外国語 (英語) の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。(R3 77.5%) ○ 小学校学力経年調査における「運動 (体を動かす遊びを含む) やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 57%以上にする。 学校園の年度目標 ○ 小学校学力経年調査における「学校で出された宿題以外に、自分で計画を立てて学習 (予習・復習など) をしていますか。」に対して、肯定的な回答する児童の割合を、50%以上にする。(R3 46.0%) ○ 児童アンケートにおいて、「算数の学習は分かりますか」の項目について、「そう思う (どちらかといえばそう思う)」と答える児童の割合を、全体の 85%以上にする。(R3 85.9%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容① 【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 算数科を中心として、さらなる授業力・指導力の向上に取り組む。 (言語活動・理数教育の充実)(英語教育の強化) 指標 ・校内授業研究会を年 3 回。その他、授業公開 30 回。 ・若手教員の指導力向上を目指した研修を年 8 回程度行う。 ・算数科や英語の全体研修を通して指導力向上を図ることができるよう設定した研修を予定通りに行う。 ・学習過程を工夫することでより多くの練習問題に取り組む時間を設け、基礎・基本の定着を図る。	

取組内容②【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 基礎的・基本的な学習を確実にするために取り組む。 (「主体的・対話的で深い学び」の推進)(英語教育の強化)	
指標 ・各学年月に数回、年 18 回程度の漢字の小テストに取り組む。 ・教育委員会事業、淀川区学力向上支援事業「漢字名人育成計画」を活用し、小学 5、6 年生を対象に漢字能力検定受検に向けて一人一人がめあてをもって計画的に学習に取り組むことを通して学習意欲を高め、着実な学力向上に努める。 ・3 年生以上の教室にアルファベットのポスターを掲示し、アルファベットに慣れ親しませる。 ・自学習に積極的に組ませる方策を工夫する。	
取組内容③【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 全体での話し合いや小集団での話し合い、協働的な学習に積極的に取り組んでいく。 (「主体的・対話的で深い学び」の推進)	
指標 ・算数科の研究の視点に「話し合い活動の充実」を据え、校内研究を進める。 ・一人一台端末を活用して、学習が深まる話し合い活動の場を工夫する。	
取組内容④【基本的な方向 5、健やかな体の育成】 主として走力・筋力を高める運動や、柔軟力を高め、ケガをしにくい体作りや、身体の調整力を高める意識を養うための体操を行う。 (体力・運動能力向上のための取組の推進)	
指標 ・教員の指導力向上を目指し、教員研修を年に 1 回以上開催する。 ・毎時の体育授業導入部分で、学習内容に合わせた部位の動的ストレッチを行う。 - また授業の終わりに、静的ストレッチ(柔軟体操)を行い体の柔軟性を高める。	
取組内容⑤【基本的な方向 5、健やかな体の育成】 ・校内外での体育的活動の場を工夫することで、運動への興味・関心をもたせる。 (体力・運動能力向上のための取組の推進)	
指標 ・校内外での体育的活動の場を年に 2 回以上設ける。 ・専門の講師を招聘した授業を年に 1 回以上開催する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立新高小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】 全市共通目標 (小・中学校) ○ 令和 4 年度末の校内調査の「学習者用端末は、自分の生活や学習に役だっている」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。 ○ 1 か月の時間外勤務時間が 45 時間を超えない教職員の割合を 70%以上にする。 学校園の年度目標 ○ 令和 4 年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を 70%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向 6、教育 DX の推進】 個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて ICT 教育を推進する。 (ICT を活用した教育の推進)	
指標 ・学習者用端末を用いた自主学習を週 2 回以上、授業での活用を週 2 回以上行う (1 年生を除く)。	
取組内容②【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 人材や ICT を活用して、業務を効率化していく取り組みを一層進めていく。 (働き方改革の推進)	
指標 ・教職員自身が業務を見直し、月 1 回以上、スクールサポートスタッフへ業務を委託することや、ICT を活用した業務の効率化の成果を年 3 回以上、共有し合う。	
取組内容③【基本的な方向 9、家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 ・本校がコロナ禍以前に、家庭・地域等と連携してきた取り組みをできるかぎり取り組み、今後に引き継いでいけるよう取り組んでいく。 (地域学校協働活動の推進)	
指標 ・コロナ禍、可能な活動を模索し、見守り活動、PTA 活動、地域行事、合同防災訓練、図書ボランティア、生涯学習ルームとの活動を昨年度以上の回数とする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	